

熊谷俊人

千葉県知事

×水野ゆうき

特別対談

千葉県議会議員
(我孫子市選出)

ゆう can change! vol.50



Blog <https://ameblo.jp/yuukimizuno/>

Facebook 水野友貴 Twitter @yuukitten

すべての子どもたちに安心と希望を

通学路等の交通安全施策

水野 千葉県八街市で起きた飲酒運転のトラックによる小学生5人死傷事故を受け、熊谷知事はすぐに市町村教育委員会と連携して通学路等の緊急点検を行いました。

私も保護者の皆様や高齢者、障がいのある方から多くのご要望やご意見を受け、我孫子駅北口のマンション前交差点が歩車分離式となった際、信号の時間延長やスクランブル交差点への転換などを要望し、県警に対応していただくなど交通安全政策には力を入れています。



我孫子駅北口マンション前交差点

熊谷 地域の声を届ける活動に敬意を表します。あのような痛ましい事故を二度と起こさないために緊急一斉点検を実施し、我孫子市の11月末時点における対策の進捗状況は対策必要箇所89箇所のうち87箇所が対策済となっています。

また、千葉県は持ち運びして速度を取り締まることができる可搬式オービスを全国で最も多く配置し、通学路や生活道路における速度取り締まりを機動的に行っています。

水野 また、星野市長とともに熊谷知事に要望させていただいた我孫子市柴崎地区通学路等の消えかかっている横断歩道も早急に対応してもらいました。交通安全対策は市町村との連携が非常に大切だと感じています。

熊谷 水野県議、星野市長から直接、現場の状況も含めて詳細に説明を頂き、優先順位が高いと判断しました。市町村との連携を深め、県民の命を守る交通安全対策を進めます。

給食費無償化

水野 物価高の影響で負担が増している子育て世帯を支援するため、千葉県は3人目以降の子どもの小中学校などでの給食費の無償化を始めました。市町村立校も含めた全県での無償化事業は全国初となり、熊谷知事ならではの施策として保護者の皆様から喜びの声を聞いています。

我孫子市では既に実施をしていましたが、市の負担軽減にも

繋がり、今回を機に多くの基礎自治体が活用されると聞いています。

熊谷 県の補助制度の創設によって殆どの市町村が第3子以降の無償化を実施することとなり、4万人以上の子ども達がその対象となります。

少子化は急速に進んでおり、子育て支援施策は子育て世代の支援に留まらず、私たちの社会が今後も続いていくために不可欠です。今後も県独自の支援策を充実させていきます。

シニア世代が安心して暮らせるまちづくり ～医療・介護提供体制の確保～

水野 千葉県における65歳以上の高齢化率は27%で170万8千人と過去最高となっています。2025年には約7,100人の介護人材が不足すると推計され、介護人材の確保は喫緊の課題となっています。

多様化、複雑化していく介護ニーズに対応するためにも介護従事者の処遇改善や定着などを国に要望するとともに、働きや

すい職場環境整備を促進していくことが大切です。

熊谷 県では若年層・高齢者・外国人など多様な人材の介護分野への就業促進、介護職に対する理解促進、働きやすい職場環境の整備など、関係団体等と連携・協働して、総合的な介護人材確保の取組を進めています。県立高校において介護の

裏面へ続く➡

資格を取得できる福祉コースを用意し、成果も出てきています。

水野県議がおっしゃるように、介護職員の処遇改善や職員の負担軽減と働きやすい職場環境整備の促進などについて今後も国に要望していきます。

水野 千葉県は医師・看護職員の少数県でもあり、診療科偏在や地域偏在も課題となっています。

県全体の医療提供体制を確保することは非常に重要な施策です。高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、千葉県では在宅医療と介護との連携体制を構築し、切れ目のな

い医療・介護サービスを提供していく体制が推進されています。

熊谷 県の重要な役割です。医学生・看護学生に対する貸付けなどにより人材確保を図るほか、特に確保の厳しい産科医・新生児科医の処遇改善に取り組む医療機関に対し助成を行うなど、定着対策にも取り組んでいます。

入院から在宅へ、切れ目のない支援を行う体制を整備することが重要で、医師等を対象に訪問診療に関する座学研修や同行訪問研修等に加え、在宅医療・介護連携に取り組む市町村への支援を行っています。

県民の命を守る防災対策

ライフラインの確保体制

水野 防災は私の政策の中でも大きな柱として取り組んでいます。令和元年房総半島台風や相次ぐ大雨による災害においては長期かつ広範囲に及ぶ大規模な停電、断水、多数の家屋被害等が発生するという本県が経験したことのない災害を引き起こし、ライフラインの被害が深刻でした。

熊谷 電力強靱化に向け、東電との協定に基づく倒木処理や電源車配備、倒木のおそれがある木を事前伐採するなどの災害に強い森づくり、浄水場への72時間の非常用電源の整備、一宮川流域の大規模な流域治水事業、河川への水位計の設置など、様々な対策を現在進め、日本一の防災県を作るべく、全庁をあげて取り組んでいます。



市町村の被害状況把握と県の支援体制

水野 我孫子市は3.11で被災地となり、その際に「情報」の大切さを目の当たりにしました。房総半島台風でも当時（森田知事時代）の情報収集体制が充分ではなく、台風通過直後にリエゾンの派遣を行わず、県内の被害状況の把握に遅れが生じ、県議会において私も指摘をしました。熊谷知事は知事就任後、防災対策と危機管理体制には特に注力されています。



我孫子市総合防災訓練にて

熊谷 私も市長として多くの災害指揮を行いました。適切な

初動対応のためには徹底した情報収集が不可欠です。

知事就任後、各市町村との連携を強化し、知事・副知事と市長村長とのホットラインを構築しました。SNS上の情報をAIで分析するなど最先端のシステムも導入したほか、県内唯一の千葉市消防防災ヘリを全県活用する取組も進めています。

水野 県民の防災意識の向上は重要で、県では千葉県防災ツイッターを開設しました。コロナ禍であろうと首都直下地震や南海トラフ地震がこの先30年以内に起こる確率は70%以上とされている中で、防災訓練や災害への備えは必要不可欠であることも議会で訴えさせていただきました。

熊谷 水野県議の考えは非常に重要です。実践的な訓練を重ねるとともに、県民だよりやSNSを通じて県民の皆さんの防災意識を向上させるための呼びかけを行っています。

水野 市町村との連携を軸に政策を進めていく熊谷知事と実りある仕事をしていきたいです。

水野ゆうき 主な役職

千葉県議会議員（無所属・我孫子市選出・会派「千翔会」代表）

- ・県土整備常任委員会委員
 - ・千葉県議会フリースクール等教育機会確保議員連盟 幹事
 - ・千葉県議会スポーツ振興議員連盟 幹事
 - ・千葉県議会地震・津波対策議員連盟 幹事
 - ・千葉県立我孫子・湖北特別支援学校後援会顧問
 - ・手賀沼水環境保全協議会顧問
 - ・千葉県環境審議会委員（水環境部会担当）
 - ・一般国道356号整備促進期成同盟顧問
- 他ホームページに掲載

プロフィール

1983年2月19日生。我孫子市生まれ・育ち・在住。我孫子市立第四小学校入学、米国ロサンゼルス現地校編入。帰国後は茨城県私立茗溪学園中学校編入、同校高校卒。津田塾大学学芸学部国際関係学科卒。大手物流会社に入社し約3年間役員秘書として勤務後、民放テレビ局勤務（BSフジ『PRIMENEWS』担当）。2011年我孫子市議会議員選挙当選。2015年千葉県議会議員選挙初当選。2019年2期目当選。



水野ゆうきへのご意見・応援メッセージは公式ホームページまで ▶ <https://mizunoyuuki.com/>